

オキドキニュース 五月号



二十四節季

立夏	五月六日
小満	五月二十日

夏の始まり。東洋暦では立夏から立秋前日までを夏、西洋暦では夏至から秋分の前日までとしている。

夏の気始めて立つ！

植物が育ち茂る。麦生日と呼ばれ、晴天あれば麦がよく熟するといわれている。

バスハイク

四月七日・八日の二日、日頃外出する機会が少ないので、思いっきり春を感じて頂くこと、施設送迎車を使い近隣の桜並木を観に行く「バスハイク」を催しました。

今年は、開花時期が少し早く、残念ながら桜の花（ソメイヨシノ）が散り、若葉が出始め新緑で覆われた状態でした。若干、もの足りない「お花見」になってしまったため、近隣で建設中の鹿野大仏（ろくやだいぶつ）を車中から見学しました。利用者の皆様は、久しぶりの外出に笑顔が満開でした。



鹿野大佛（ろくやだいぶつ）

東京都日の出町の宝光寺に「鹿野大佛」が完成し、四月十一日から一般の参拝者向けの公開が始まりました。バスハイクで車中から見学しましたので、ご紹介いたします。

宝光寺は、江戸から明治時代に度重なる火災で諸堂を焼失しました。先代の八坂昭道住職が、「七堂伽藍」を整備する大事業を成し遂げ、さらに西多摩の地を仏教の発信地にしようとして、大仏の造立を願いました。しかし、一九九五年に急逝したため、その遺志を八坂良秀住職が継いで、五年かけて完成させた。

また、八坂住職は東日本大震災で修行時代の仲間を亡くしており、「犠牲者を供養したい」という思いが募り、建設を始めようと決意したようです。

鹿野大佛の名前は、宝光寺の裏山、鹿野山（ろくやさん）ということから来ています。かつて温泉が湧き、明治初頭まで「鹿の湯」として各地からの湯治客でにぎわったという。この「鹿の湯」は、室町時代、宝光寺の敷地内の湧き出る泉で、野生の鹿が傷を治している様子を文済大和尚が気づかれ、人々にも役に立てよう



【日本の大仏の大きさ】

- 1位 奈良の大仏(像高 約14.7m)
- 2位 鹿野大仏(像高約12m)
- 3位 鎌倉の大仏(像高 約11.39m)

【施設内床清掃のお知らせ】

左記の日時にて、清掃業者による施設内の「床清掃」「ワックス掛け」を予定しております。それに伴い居室への立ち入りが出来ない時間が発生します。ご迷惑をおかけしますが、皆様のご理解ご協力をお願い致します。

日 時 五月二十日（日曜日）
作業時間 午前九時～午後四時

A班（4人）	
9:00 ~ 10:00	地下
10:00 ~ 12:00	別館
13:00 ~ 16:00	リハビリ・デイルーム クリニック

B班（4人）	
9:00 ~ 9:30	受付・相談室
9:30 ~ 10:00	東側階段
10:00 ~ 10:30	西側階段
10:30 ~ 13:00	2階共用部分・療養室
14:00 ~ 16:00	3階共用部分・療養室



床頭台の一番上には

物を置かないでください

ご利用者皆様のベッド周りは限られておりますので、沢山の荷物の持ち込みはご遠慮下さい。

荷物を床頭台の一番上に置かれますと、地震発生時の揺れなどによって、ご自分のお体の上に落下する可能性があります。更にご自分のベッド周りに、衣装ケースや荷物などを置かれますと、緊急避難の妨げともなります。このため、ご使用にならない「衣類」「クラブの作品」などは、出来る限りお持ち帰り頂きますようお願い致します。

ご利用者様の快適、安全な施設生活を保つためにも、ご関係者の皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

菖蒲湯



五月一日から五日まで、「菖蒲湯」と致します。風薫る新緑の季節の雰囲気をお楽しみください。

【当地グルメ】（静岡県）

とろろ飯

とろろ飯は、自然薯（じねんじょ）をすりおろして汁状にしたもの。ごはんにかけて食べる場合は「とろろかけ飯」です。

天然の山芋は粘りが強く、そのままではご飯にかけて食べられない程なので、これを出汁で伸ばし、酒、みりん、醤油、白味噌、卵などを加えなめらかにして食べる。日本の山野に自生する山芋は、米より古く縄文時代から食べられて、滋養強壮にもよく薬用としても使われてきたもの。口の中に広がる熱々の「とろろ」は体中を温めてくれる。是非、ご賞味下さい。

5月10日 昼食にご提供！



写真はあくまでイメージです。